

# Mini-WAN

国土交通省中部地方整備局  
三河港湾事務所発行(No.122)

三河港湾事務所だより

2017年8月号

## 三河港湾事務所 工事安全大会を開催しました

建設業の労働災害死亡者数は、全産業の死亡者数の約3割を占める状況にあります。港湾空港関係直轄工事においても、昨年度は全国で2件の死亡事故を含む38件の死傷事故が発生していることから、より一層の事故防止対策の強化を図る必要があります。

そのため、当事務所では、7月26日(水)に当事務所発注の工事受注者を一堂に集めて、「三河港湾事務所 工事安全大会」を開催しました。当大会では、港湾工事における安全対策の充実、安全意識の向上、安全管理のより一層の徹底を図り、『無事故・無災害の港づくり』の現場にすることを目的としており、当日は約80人が参加しました。



当事務所長平澤からの挨拶

今回は、愛知労働局 久住地方産業安全専門官、三河海上保安署 林次長、中部地方整備局港湾空港部 野口港湾空港整備・補償課長による講話や、受注各社からの安全対策に関する取り組みの報告等を行いました。

当事務所では、これからも意識を高めて、『無事故・無災害の港づくり』を進めていきます。



『無事故・無災害の港づくり』を  
参加者全員で決意

## 豊橋みなとフェスティバル2017

7月17日(月・祝)にポートインフォメーションセンター「カモメリア」及びその周辺にて、「豊橋みなとフェスティバル2017」が開催されました。

当日は天気も良く、会場内では海上保安庁巡視艇「あゆづき」の一般公開や三河港クルーズ、臨海部に立地する企業の施設の見学ツアー、東三河観光物産展など様々な催しが行われ、多くの家族連れでにぎわっていました。

当事務所のブースでは、事業に関するパネル、地震によって起こりうる津波、液状化の実験装置の展示を行い、子供から大人まで多くの方に実験を体験してもらいました。津波や液状化の仕組みに加え、津波実験では、防波堤の有無による津波の大きさを比べてもらい、防波堤の役割についても知っていただく機会となりました。

こういったイベントを通じて、地域住民の方たちの防災に関する意識の高揚、港の役割や整備への理解につながれば幸いです。当事務所では、今後も広報活動に取り組んで参ります。



開会式の様子



液状化実験の様子



津波実験の様子



## 衣浦の海的环境教室

7月25日（火）に、高浜市の市民団体「渡し場かもめ会」主催の「衣浦の海的环境教室」が行われ、児童とその保護者計22名が参加されました。本イベントは、子供たちに海的环境への関心と理解を深めてもらい、自然を守ろうという意識を持ってもらうこと、船に乗り普段見ることのない海上から港の様子を見てもらい、港について学ぶことを目的に毎年行われていて、当事務所職員も講師として参加しています。



透明度調査の様子



採水の様子



解説を真剣に聴く子供たち

### 質疑・アンケートより参加者の方のご意見

- 衣浦の海が汚れていることが数字で表されたところが勉強になった。
- 干潟を増やし、アサリの住むことの出来る環境を増やすことで、きれいな海にしてほしい。
- アサリは汚れた水をきれいにするということだが、アサリは汚れたものを食べても平気なのか？



アサリは海水を体内に取り込み、えらで、海水の中の栄養となるものとそうでないものを選別します。そうでないものは他の生き物が食べられる状態にして、きれいにした水と一緒にさし出します。

当事務所では、今後も三河湾での環境学習等の取り組みを支援していきます。



参加者の皆さんで記念写真

### 三河港湾ギャラリー



作品No. 53 海上保安庁巡視艇「あゆづき」の放水訓練  
(みなとフェスティバル2017)

### 海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル  
おいに よくなれ みなと  
0120-497-370

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00  
(土・日・祝祭日を除く)  
※一部の地域を除きます。

国土交通省  
中部地方整備局



三河港湾事務所  
〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1  
TEL 0532-32-3251 FAX 0532-32-5049

衣浦港事務所  
〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地  
TEL 0569-21-2311 FAX 0569-21-2312

<http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp/>